

# 国語科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025年（令和7年）10月31日（金）
- 2 学年 第5学年2組（21名）
- 3 単元名 「方言と共通語の違いを知ろう」 教材名「方言と共通語」光村図書
- 4 単元について

## （1）教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第5学年・及び第6学年（知識及び技能）（3）ウの指導事項「語句の由来などに关心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。」を受け、設定したものである。なお、本単元では、指導の効果を高めるため、〔知識及び技能〕（3）ウの指導事項の「共通語と方言の違いを理解すること。」の部分のみを取り上げ、単元化して指導する。共通語と方言との違いを理解するためには、共通語と方言とを比較、対照させながら違いを理解し、それぞれの特質と良さを知り、共通語を用いることが必要な場合を判断しながら話すことができるようになることが重要である。本教材は、調べた方言をもとに方言分布図を作成する活動を通して、方言は地域によって違いがあることや、多様な広がり方をしていることに気づくことができる内容である。また、自分たちの方言や言葉が、昔から人々に受け継がれてきたものであることにも目を向けることができる教材である。

## （2）児童観

本学級の児童は、これまで「古典の世界」の単元において、竹取物語や方丈記などの古文を音読する活動を通じて、昔の人々の言葉の響きやリズムに親しみ、昔の人々が現在の言葉とは異なる表現を使っていたことを理解している。しかし、その表現のいくつかが、普段話している言葉の中にも受け継がれ、つながりがあるという事には気付けていない。また、児童は普段備後弁をよく話している。そのため、日常化しすぎて方言を話していることや、昔から地域に根付いている言葉を話しているという意識はないように思われる。

## （3）指導観

指導に当たっては、児童が話している地方の言葉と他の地方で話されている言葉の比較を通してその違いについて考え、「方言」に着目させる。そして様々な地方の方言について本で調べたことをもとに方言分布図を作成し、方言には多様な広がりがあることに気付かせる。児童が話す備後弁の歴史的背景に関する本を並行読書できるよう学級文庫に備えておくことで、方言には広がりがあるだけでなく、受け継がれてきた歴史があり、今もなお、自分達の話す言葉として残っていることへとつなげることで、言語文化への理解を深められるようにする。また、方言が使われている地域のチラシやパンフレット等を用意し、その効果について考えられるようにしたり、実際に地域のリーフレットや新聞の見出し等に合う方言を考えたりすることで、方言の良さについて考えを深められるようにする。学習の中で出た様々な気付きをペアやグループに伝え合う活動を言語活動とする。

学校図書館は様々な地方の方言やその成り立ちについて調べられる本や、子ども新聞、リーフレットなどの資料を用いるために活用する。

## 5 本単元の目標と評価規準

### (1) 本単元の目標

- 共通語と方言との違いを理解することができる。 【知識及び技能】(3) ウ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 評価規準 ( ) 内は鷹取中学校区育成する力 (資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	主体的に学習に取り組む態度 (主体性)
① 共通語と方言との違いを理解している。	① 積極的に、共通語と方言との違いを理解し、学習課題に沿って理解したことを伝えようとしている。

## 6 単元計画 (全3時間)

次	時	学習活動案	学校図書館活用の ポイント	評価規準
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本で地域ごとの方言を調べ、方言チャートを作成する。</li> <li>・「たずねびと」で方言が使われている場面を見つけ、その効果について交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方言に関する本を使って、備後弁や様々な地域の方言を調べる。</li> </ul>	
	2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方言と共通語の使い分けの場面やそれぞれの良さについて考える。</li> <li>・方言の成り立ちについて、歴史的背景に着目して考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども新聞やパンフレット等で、共通語と方言の使い分けられている場面を見つける。</li> <li>・備後弁の歴史的背景が分かる本やパンフレットの情報をもとに、成り立ちを考える。</li> </ul>	<p>○方言と共通語との違いを理解している。 【知①】</p> <p>○積極的に、方言と共通語との違いを理解し、学習課題に沿って理解したことを伝えようとしている。 【主①】</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のパンフレットや新聞の見出し等に合う方言を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方言の見出しで書かれているパンフレットや新聞を参考にする。</li> </ul>	

## 7 本時の目標

方言と共通語が使い分けられている場面に気付き、その違いやそれぞれの良さを理解することができる。

## 8 本時の展開

展開	◎学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)
導入	<p>◎前時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地方の方言を調べて、方言分布図を作成したよ。</li> <li>・方言は地方によって様々な広がり方をしていたよ。</li> </ul>	<p>○前時に作成した方言分布図を提示し、地方によって方言は様々であることを再認識させる。</p>	
展開	<p>◎どんな場面で方言を話すのか想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達と話すときは自然と方言を話している。</li> <li>・発表や校内放送をするときは方言を使っていない。</li> <li>・相手によって自然と方言と共通語を使い分けていると思う。</li> </ul> <p>※方言と共通語の違いを見つけ、それぞれの良さを考えよう。</p> <p>◎方言と共通語の違いを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使う場面が違う。</li> <li>・話す相手が違う。</li> <li>・方言と共通語は具体的にどのような場面で使い分けているのだろうか。</li> </ul> <p>◎方言と共通語の使い分ける場面を表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の時や先生、家族以外の目上の人と話す時には共通語を話している。</li> <li>・ニュースキャスターは共通語を話しているよ。重要な内容の報道だからだと思う。</li> <li>・テレビタレントで自分たちの地域の方言を話している人を見たことがあるよ。親近感が沸いた。</li> </ul> <p>◎方言と共通語のそれぞれの良さを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方言は身近な人と話しやすいし、伝えたいことや感情が伝えやすい。</li> <li>・方言で話すと親近感が沸く。</li> </ul>	<p>図書館利用のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方言のセリフが書かれた本を見返し、使う場面を想起する。</li> </ul>	<p>◆方言と共通語との違いを理解している。 (ノート・発言)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光のパンフレットなどに方言が書かれていると、その土地の雰囲気があつて良い。</li> <li>・共通語はどの地方の人も理解できる言葉。</li> <li>・共通語は丁寧でどの世代にも伝わりやすい。</li> <li>・でも大昔の人はまた違う言葉を使っていたと思う。</li> <li>・方言はいつから話されていたのだろう。</li> </ul> <p>◎方言の成り立ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今から約 150 年前の人々も方言を話していたみたい。</li> <li>・方言はどのようにできたのだろう。</li> <li>・日本の地域のそれぞれの住む場所や、生活の仕方に合わせて話すようになった言葉が方言となりたみたいだよ。</li> <li>・でも、同じ広島県でも地域によって少し方言に違いがあると聞いたよ。</li> <li>・備後弁は名古屋弁と似ている部分が多いとあるけど、どうしてだろうか。</li> <li>・方言は日本の歴史が大きく関わって、広がつていったみたいだね。</li> <li>・こんな昔からある言葉が今でも残っているにとってとてもすごいね。</li> <li>・確かに、自分達が方言を話しているのは、家族や地域の人が話しているのを聞いて、自然に身についている。</li> <li>・言葉は受け継がれてきているんだね。</li> </ul>	<p><u>図書館利用のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方言の見出しがあるパンフレットから、土地の雰囲気や親しみやすさがあることに気付く。</li> </ul> <p><u>図書館利用のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備後弁の成り立ちに関する本やその歴史的背景を知ることができるパンフレット等を使って、備後弁の成り立ちを知る。</li> </ul>	<p>○積極的に、方言と共通語との違いを理解し、学習課題に沿って理解したことを伝えようとしている。 (ノート・発言)</p>
終末	<p>◎本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方言と共通語は場面や話す相手によって使い分けている。方言はその地方の雰囲気を感じられる。</li> <li>・方言だけでなく、言葉は歴史によって使い方や意味が変わったりしながらも、受け継がれてきている。</li> <li>・備後の言葉を大事にしたい。</li> </ul>		

## 方言と共通語の違いを知ろう

○方言と共通語の使い分けの場面  
それらの良さを考えよう。

○方言と共通語の使い分けの場面  
〈方言〉

- ・家族や友達と話す時。
- ・住んでいる地域で過ごす時。
- ・地元紹介のテレビ。
- ・観光案内のパンフレット

〈共通語〉

- ・校内放送や発表をする時。
- ・家族以外の目上の人と話す時。
- ・ニュース（災害や政治などの大事な内容）。

○それぞれの良さを考えよう。

〈方言〉

- ・身近な人と話しやすいし、感情が伝わりやすい。

〈共通語〉

- ・どの地方の人にも伝わりやすい。
- 方言の成り立ちを考えよう。

- ・備後弁の成り立ちには様々な歴史的背景がある。

- ・自然と家族や地域の人から言葉を教わっている。
- まとめ